

令和8年度 将来世代と地域企業をつなぐプロジェクト事業
公募型プロポーザル評価会議 評価要領

令和8年2月24日

1 評価方法等

(1) 評価対象

- ア 提案書及び添付書類
- イ プレゼンテーション

(2) 評価基準

別表「令和8年度 将来世代と地域企業をつなぐプロジェクト事業 評価基準（以下、「評価基準」という。）」のとおり

(3) 採点方法

ア 評価点

「評価基準」の項目ごとにA～Eの5段階による評価とし、評価点は、各項目に対する配点に係数0.2～1.0を乗じた点数とする。

評価	内容	係数
A	非常に優れている	1.0
B	優れている	0.8
C	標準	0.6
D	やや劣る	0.4
E	劣る	0.2

イ 順位付け

評価会議の構成員は、アの採点結果により優れた方から順に、1位から3位までの順位付けを行う。同点がある場合は、各構成員の判断により順位付けを行う。

各構成員の順位付けに対し、1位は4点、2位は2点、3位は1点の順位点を付ける。

2 委託候補者の決定

各構成員の順位点を総計して最も得点の高い者（以下、「最高得点者」という。）を委託候補者として選定する。

最高得点者が複数だった場合は、その中から各構成員の意見を踏まえた上で、座長の判断により委託候補者を選定する。

ただし、評価の結果、最高得点者の評価点の合計が、出席している構成員の数に60を乗じた値に満たない場合には、委託候補者の選定は行わない。

(別 表)

令和8年度 将来世代と地域企業をつなぐプロジェクト事業 評価基準

評価項目	評価項目の詳細	評価の着眼点	配点
全体の評価	的確性	仕様書を踏まえ、明確かつ具体的な提案がなされているか。	5
	効率性	事業を効果的かつ効率的に実施するための提案がなされているか。	5
	実現性	目的達成の方法が妥当で、実現性があるか。	5
	独自性	類似事業の履行実績等を踏まえ、創意工夫し、独自性のある提案がなされているか。	5
	(小 計)		
運営体制	配置人員	業務内容に対して、適格性を有する人材を配置し、業務を遂行できる組織体制になっているか。	5
	事業計画	業務の実施に係るスケジュールや事業計画が明確に示されているか。	5
	業務実績	類似事業の履行実績から、適切かつ効果的に事業を遂行し、成果を上げることが見込めるか。	5
	個人情報の取扱い	個人情報の保護・管理が適切になされるか。	5
	(小 計)		
個別の業務への評価	ポータルサイトの運営 コンテンツ制作	<ul style="list-style-type: none"> 掲載情報が充実するよう提案されているか。 当事業の内容をわかりやすく説明し、活用の促進について訴求力の高いコンテンツ内容が提案されているか。 職業体験の事例、連携体制、成果等がわかりやすく構成され、他地域でも参考にできる内容が提案されているか。 	15
	コーディネーター配置・ 運営	<ul style="list-style-type: none"> 本業務内容の着実な遂行が期待される的確な人材が配置され、円滑な活動可能な体制・勤務環境が整備されているか。 コーディネーターによる効果的・効率的な運営（企業・学校等への積極的アプローチによるキャリア教育の推進活動や企業・学校のマッチング支援、関係団体との連携支援）が期待されるか。 	25
	「信州ものづくりマイスター」の派遣	受講生が地域産業・企業に関心を持ち、県内企業への就職の意識付けが期待され、県内全域を偏りなく実施し、創意工夫のある講座運営が提案されているか。	10
	経済性（費用対効果）	事業の実施に必要な経費が適切に見積もられ、事業の内容や期待される成果等から見て妥当な範囲内であるとともに、県の予算の範囲内であるか。	10
	(小 計)		
評 価 点 計			100